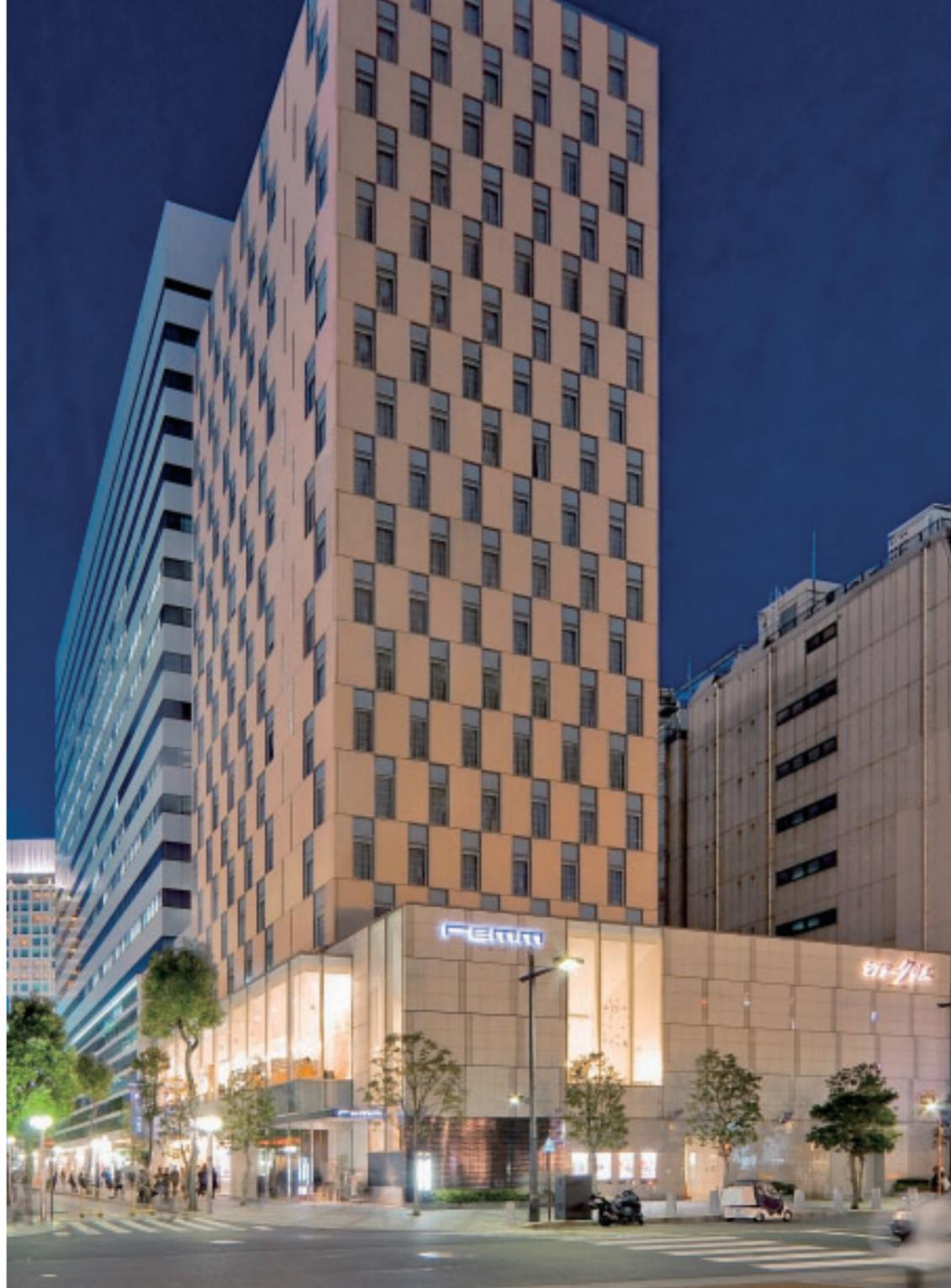
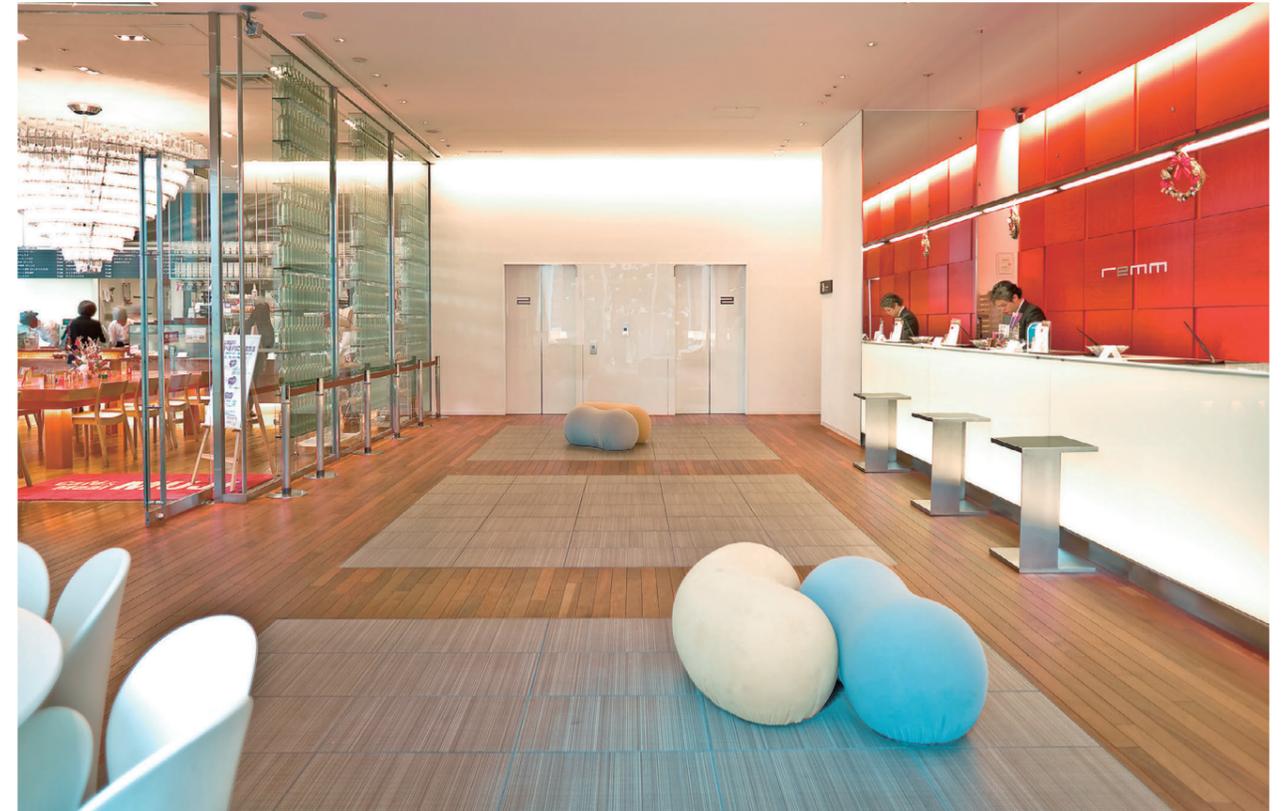


# 東宝シアタークリエビル

設計施工：竹中工務店東京本店



全景 ホテルの基準階である高層部には千鳥格子の開口部を採用し、ランドマークとしての斬新さと存在感をアピールした。低層部はホテルのロビーやレストランの大きな開口部と千鳥のパターンをモチーフにした大きな壁面によりモダンな構成とし、街区に対して賑わいと華やかさを演出した。また高層部の壁面を隣接する「東宝日比谷ビル」と合わせることによって街並みの調和を図っている



2階ホテルロビー フロントバックには千鳥のモチーフの壁面を採用し、建物としての統一感を図った

## Best Equipment

### 日比谷アミューズメントエリアの 新たなランドマークの創出

堀口譲司 美島康人  
JOUJI HORIGUCHI YASUHIITO MISHIMA

東京・日比谷は、阪急電鉄の創始者である小林一三氏が1932年（昭和7）に設立した東京宝塚劇場（現・東宝）による劇場建設に始まり、映画館、店舗、オフ

イスの複合施設である「東宝日比谷ビル」（通称・日比谷シャンテ）[\*1]、劇場、映画館を持つ「東京宝塚ビル」[\*2]、「日本生命日比谷ビル」[\*3]など、劇場、映画館、商業施設が集積した日本でも有数のアミューズメント地域である。「東宝シアタークリエビル」は、東宝日比谷ビルの増築として、芸術座と映画館2館を持つ東宝会館の跡地に計画された。

#### □建築計画

建物は東宝直営の劇場「シアタークリエ」と、阪急阪神ホテルズがテナントとして手掛ける宿泊特化型ホテル「レム日比谷」という都市的な施設が積層する構成である。

主に地下部分に配置された劇場では、客席数611席を有し、これまでの芸術座の顧客層より若い、30～40歳代の女性をターゲットにした演目を中心に上演。地上部のホテルも自然派レストランの営業や、レディースフロアを設けるなど、ビジネスマンだけでなく、観劇・観光などを目的として訪れる女性への配慮が随所になされている。

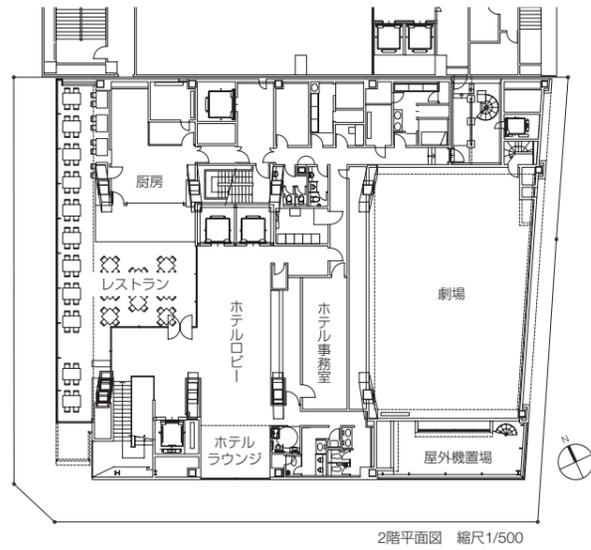
外装はホテルの客室階となる高層部を45角モザイクタイル打ち込みのパネルで千鳥格子状に軽快にまとい、日比谷地区の新たなランドマークとして斬新さと存在感をアピールすることをねらった。低層部は総合設計制度の歩道状空地によりパブリックな空地を提供し、大きな開口部と壁面によるモダンな構成によって街区へ賑わいと華やかさを演出した。

#### □ホテルのデザイン

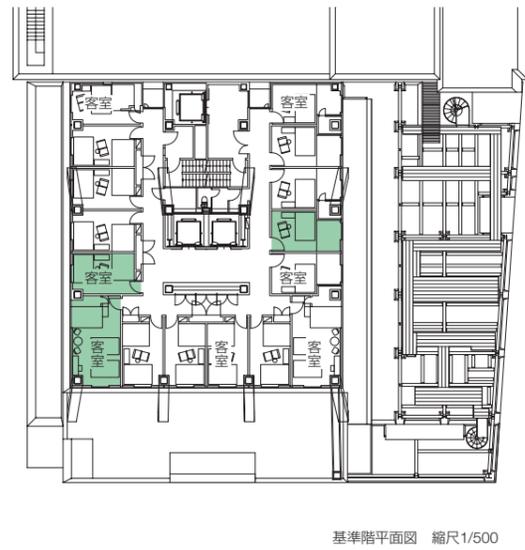
ホテルは“快眠”をコンセプトとする新ブランド第1号店の宿泊特化型ホテルである。255室の客室はシングル2タイプとツイン1タイプで構成され、建物のコーナー部にツインルームが配置されている。ルームの規模はそれぞれ15.1㎡、23.5㎡とコンパクトではあるが、シングルルームではユニットバスを採用せず、ガラスのシャワーユニットとドライエリア内に配したパウダースペース、トイレとし、ベッドルームとの間にガラススクリーンを設けて一体の空間としている。また銀座方向のシングルルームでは水まわりを窓際に配し、これまでにない開放



高層部  
壁面ディテール



2階平面図 縮尺1/500



基準階平面図 縮尺1/500

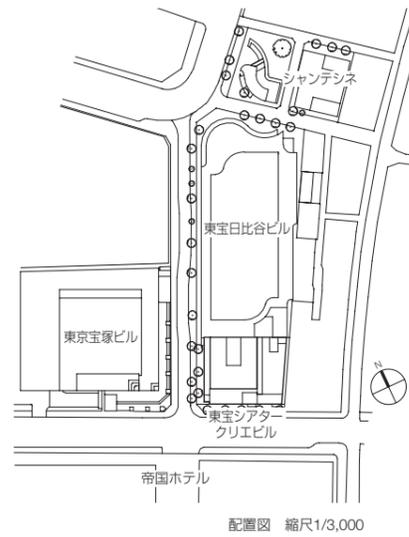
1階ホテルエントランスホール インパクトのある千鳥の櫛引きによる壁面と吹抜けを通して、2階ロビーとの連続性を持たせた



ホテルにはないデザインホテルとしての独自性を表現した。

#### □客室水まわりユニット

客室の水まわりユニットは、シングルルームには0811 (0.34坪タイプ) のシャワーユニットを、最小限のスペースに安全性と使い勝手を検証しながら新たに開発した。また、ツインルームには1620 (1.25坪タイプ) の3点ユニットを採用し、明るいシンプルなカラースキームとした。ニューヨークやヨーロッパなどで見られるシャワーのみのシンプルな水まわりに、デザイン性やレインシャワーなどの付加価値を設け、新しい都市型ホテルの在り方を示している。\*



配置図 縮尺1/3,000

ほりぐち・じょうじー竹中工務店 東京本店設計部設計副部長/1958年生まれ。早稲田大学大学院修了後、1983年、竹中工務店入社。主に劇場施設、商業施設、業務施設を担当。主な作品：明治座 (浜町センタービル) (1993)、東京宝塚ビル (2000)、シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京 (2008) など。  
みしま・やすひとー竹中工務店 東京本店設計部設計課長/1965年生まれ。早稲田大学大学院修了後、1991年、竹中工務店入社。主に商業施設、業務施設を担当。主な作品：グロープコート大宮南中野 (1996)、ノエビア銀座ビル (1998)、GINZA GREEN (2001) など。

#### ■建築概要

名称：東宝シアタークリエビル  
所在地：東京都千代田区有楽町1-2-1  
設計：竹中工務店東京本店  
ホテル客室インテリア、FFE設計：ネクスト・エム、240design studio  
施工：竹中工務店東京本店  
敷地面積：5,358.95㎡ (隣接する東宝日比谷ビルと一体敷地)  
建築面積：935.00㎡  
延床面積：11,013.77㎡  
規模：地下3階、地上18階  
構造：S造、SRC造  
工期：2005.11~2007.10

●INAX使用商品●外壁タイル：COM-155/MG/特注色

基準階ホテル客室EVホール 2層ごとにオレンジとグリーンを使い分け、変化を持たせた (写真はオレンジのフロア)

#### シングルルーム1



●INAX使用商品●ユニットバス：SP-0811LAEL、大便器：サティス、水栓金具：LF-E340S

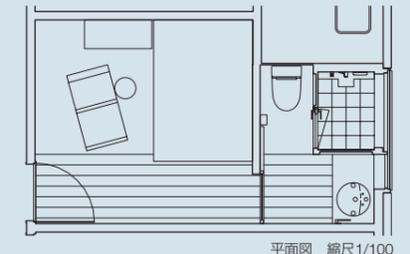


平面図 縮尺1/100

#### シングルルーム2



●INAX使用商品●ユニットバス：SP-0811LAEL、大便器：サティス、水栓金具：LF-E340S

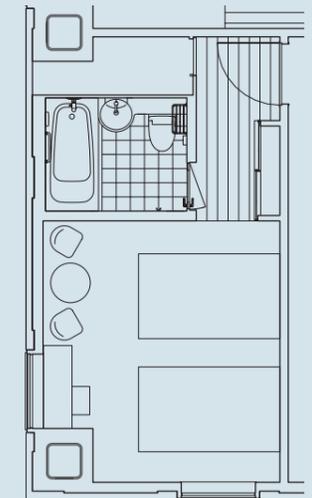


平面図 縮尺1/100

#### ツインルーム



●INAX使用商品●ユニットバス：BLCP-1620TA、大便器：NC-99SUUB-X1、シャワートイレ：CW-US-121NE、洗面器：L-848U-S、水栓金具：LF-E340S



平面図 縮尺1/100

